

## ■ 特別技術功労賞

さか しろ

坂 志朗

京都大学大学院 エネルギー科学研究科 教授

### 木質バイオマスのゾルーゲル法によるロングライフ化に関する研究

坂志朗氏は、木材の機能性改良に関するトポ化学やバイオマスのエネルギー化に関する研究での我が国を代表する著名な研究者であり、2008年には国際木材科学アカデミーフェローの称号を与えられている。また、数々の業績の中で特筆すべきは、農学の分野で長い歴史をもつ第79回日本農学賞及び第45回読売農学賞の受賞であり、その研究実績は極めて輝かしいものがある。

本研究は、木質系バイオマスの成分劣化などの欠点を改良し、ウエザリング技術としての耐劣化性の向上などの新たな機能の発現を目指したゾルーゲル法による木質バイオマスのロングライフ（長寿命）化に関するもので、長年の基盤研究成果をもとにまとめ上げており、急速に進行する地球環境の破壊と異状気象などの地球の温暖化の抑制の一助となる研究として期待されている。

（推薦団体：京都大学）

（肩書きは推薦当時 敬称略）